

# 1995 年度

(1995.7.1 ~ 1996.6.30)

## 楽しく、遊心と研鑽

国際標語 Youth-Our Heritage-Our commitment コース-我らの財産-我らの誓い

アジア標語 ひとつとなって青年とYMCAへ

日本区標語 共に生きる喜びを確信しよう

京滋都標語 いつでも どこでも さりげなく！

クラブ役員	会長	中神 貞二	
	副会長	一澤 宗弘	米谷 勝功
	書記	藤居 一彦	山田 基雄
	会計	野田 泰伸	中村 豊

各事業委員会 Yサ・ASF：古川英治 CS・TOF：瀬古口昌義 ファント・BF：中瀬康平  
グリフ：伊東正文 EMC：坂田 均 ドライバー：奥村 稔  
IBC/DBC・YEPP,STEP,YIA：森田恵三  
ネット会長：古川敬子 連絡主事：堀井 忠

第16代会長 中神 貞二

京都ウエストクラブ最大の現状問題点はメンバーの増強でありました。その打開策として、クラブ活動が明るく、楽しく、何事も許し、助け、かばい合う精神を培うことによって、自己研鑽に満ちて魅力的であるようにすること。そうすることによってメンバーの例会出席率も高まり、コンサベーションが高められ、メンバー間の連帯感が養われ『友を呼ぶ』効果が発生しやすくなる。メンバー候補が例会に出席したときも、『何を感じたか』がポイントであり、自由な人間関係を基盤にして、クラブ活動に参加して得られる楽しみや面白さ、事業委員会活動の意義と活性化といったワイズの原点が何時のときでも求められる。確かにYMCAとの関わりについても、また定款に明文化されているクリスチャニティの問題にしても意識としてはあるが、思い込みや、先入観での決め付けで判断せず、素直に理解して、ワイズの基本は、クラブ内での親睦を図りながら人間形成を打ち立て、自己の成長を喜び合う事を目標に考え、たまにはゆったりした心で物事を見、社会の奉仕団体として、当たり前の事の有難さを感謝しつつ、心から社会に奉仕するクラブに成長していきたいと考えたのでした。『楽しく、遊心と研鑽』を標語に、又日本区副区制度の長期計画 6000 プロジェクトとクラブメンバー 55 宣言を引きつぎ運営を行うには、昨今の経済情勢を考慮して一層のメンバー増強を図るため、英断をもって事業の見直すべきは見直し、改革すべきは改革するという基本方針を立て、例会費値下げの決断と各事業委員会例会を設け、会館使用の例会を開催しました。多少メンバーにご不便をお掛けしながらも数名の入会者も増強出来、その上以前から日本区の懸案であったDBC事業についても東京ひがしクラブとのDBC締結に向かってお互いのクラブ内で十分検討し、盛り上がりと共に次期に託した1年でありました。

# 1996 年度

(1996.7.1 ~ 1997.6.30)

## 知性とわらい多き集い

国際会長 (IP)	デ化ッド` 卯又	学びと奉仕と分かち合い
アジア会長 (AP)	フー サ リ	天地の調和を取り戻そう
日本区理事 (RD)	吉田 一誠	新リジョン! さあ前進!
京都部長 (DG)	大槻 隆彦	思いやりの心で、一步前進

クラブ役員	会長	松本 忠正	
	副会長	瀬古口 昌義	坂田 均
	書記	寺井 幸生	中瀬 康平
	会計	藤井 吉和	山田 基雄
	幹事	加藤 隆史	

各事業委員長 Yサ・ASF: 藤居 一彦 CS・TOF: 三木 相季 ファント・BF: 福本 信夫  
ブリッ: 中村 豊 EMC: 伊東 正文 ドライバ-: 山田 基雄  
IBC/DBC・YEPP,STEP,YIA: 酒井 清隆  
メット会長: 奥村 香代子 連絡主事: 堀井 忠  
京都部Yサ主査: 米谷 勝功

### 第17代会長 松本 忠正

会長をお引き受けしたものの、私自身ワイズメンとしてのキャリアも実績も無くまた、目標となるような大きな事業も無い年度でもあり、クラブとしての方向性を見出すのに苦勞をした一年でした。それならばと、みやびクラブをチャ-ターして減少したメンバー数の回復とさらなる上積みをめざし、従来継続している事業の見直しと取捨選択、特に予算面からの検討をとの思いがありましたが、力足らず、志半ばにして一年が過ぎてしまいました。

会長職を終えて、早くも3年が経過しました。ワイズ活動の大きな魅力の一つに素晴らしい人々との出会いを上げることが出来ます。私自身、会長職を拝命するまでは、ウエストクラブの中でのみ活動し、そのことにより充分な充実感を得ておりました。しかし、会長としてクラブを代表し、京都部で発言したり、日本区において勉強する機会を得ることによって、更なる新しい出会いのチャンスをいただきました。振り返ってみますと、そのことがワイズメンとしての私の大きな財産となっているような気がします。

# 1997 年度

(1997.7.1 ~ 1998.6.30)

## 熱き力、燃えよウエスト！

国際標語 共に目ざそうビジョンの実現 - 2000 年 2000 クラブ -

アジア標語 共に目ざそうビジョンの実現 - 2000 年 2000 クラブ -

日本区標語 ビジョンを掲げ、青年と共に働くワイズ

京滋都標語 心豊かに、新リジョンへ (Y M C A と共に)

クラブ役員	会 長	寺井 幸生		
	副会長	中瀬 康平	野田 泰伸	
	書 記	藤井 吉和	岩本 敬子	
	会 計	森田 恵三	伊東 正文	

各事業委員会 Yサ・ASF：中村 豊 CS・TOF：内田晃二郎 ファント・BF：胡内順一  
ブリテン：高野忠男 EMC：山田基雄 ドライバー：桂 厚子  
IBC/DBC・YEPP,STEP,YIA：藤居一彦  
ネット会長：野田君子 連絡主事：堀井 忠  
西副区CS事業主任：加藤隆史  
京都部JWF / EF事業主査：奥村 稔

第18代会長 寺井 幸生

ウエスト20周年に向けて、強く、元気なクラブ作りを目指してスタートしました。

「やるなら決めよ、決めたら迷うな」の気持ちを最後まで持ち続けることで、クラブを元気にしたいとの思いを込めて、1年間ブリテンの第一面を受け持ち又ウエストの白いスーツを着装して1年間例会に出席してメンバーに檄を飛ばし、ワイズメンとして誇りを持ち、勇気を持って行動下さいの合い言葉に1年燃えました。

8月トライアングルキャンプ'97(韓国鍾路クラブ)、9月東京ひがしクラブ10周年、と大きな例会に出席し度胸と忍耐の体験が出来ました、12月にはスペシャルオリンピックスの中村勝子さんを熊本から迎えて感動の例会は勇気を与えて頂きました、4月には美山にて宿泊例会を持ちウエストの今後について議論し何が必要か確認しました。例会を重ねることに会長の使命を実感し、6月にはウエストが元気になる最後の特効薬「第三回西日本区大会」のホストクラブに立候補の火付け役が果たせました。何もない時のクラブ運営は楽そうであまりませんが、メンバーを一つにまとめるためには何か目標をもって行動することが大切です、その中で信頼が出来ます、西日本区大会を経験したメンバーは次の目標に向かっての原点になっていくと思います。

そして2000年6月3日・4日の大会の大成功は、クラブを強く、元気なクラブ作りの目標が少し果たせたような思いがしています。

# 1998 年度

(1998.7.1 ~ 1999.6.30)

## ハートを冷ますな、語ろうウエスト

国際標語 Positive Commitment to Practical Action 「さあ 実行のとき」

アジア標語 Friendship Peace Forevre 「友情と平和を 永遠に」

日本区標語 「さあ 実行のとき」

京滋都標語 「育てよう優しいワイズの森を」

クラブ役員	会 長	中村 豊		
	副会長	奥村 稔	桂 厚子	
	書 記	中瀬 康平	松本 忠正	
	会 計	立山 隆一	笹山 信泰	

各事業委員会 Yサ・ASF：岩本敬子 CS・TOF：加藤隆史 ファンド・BF：野田泰伸  
ブリッ：寺井幸生 EMC：高野忠男 ドライバー：藤居一彦  
IBC/DBC・YEEP,STEP,YIA：中神貞二  
ネット会長：中神康子 連絡主事：堀井 忠

第19代会長 中村 豊

直前会長より、第三回西日本区大会のホストを受ける旨の決定があり、これを踏まえた事業の展開を求められる中、定例化したクラブ事業に新風を吹き込んで、活性化を図ろうと、この標語を掲げました。まず、クラブへの熱い思いを持ってもらい、議論を深めて、各種の事業に果敢に、取り組んでもらおうとの考えからでした。

幸い副会長、書記がベテランメンバーで、それこそ私やクラブの手足となって運営に尽力願い、お陰で年間を通じて遺漏なく事業が、進められたものと思っています。なかでも、クリスマス例会、期末の引き継ぎ例会をリトセンで行うなど、少しでもYの施設を使わせてもらおうとの意見は、貴重なものでした。

振り返って残念に思うのは、メンバーを3名を失い、2名迎えたことでした。EMCについてはもっと強くメンバーに訴え、強気にそのラッパを吹くべきではなかったかと反省しています。

何にしても一つの事業があれば、その旗振り役という会長の職務は、私を一周りも二周りも大きくしてくれた、私なりの貴重な試練であったことは確かでした。会長の一年が済んで、やっと一人前にワイズメンになれたとの思いを、当時強く持ったものでした。

# 1999 年度

(1999.7.1 ~ 2000.6.30)

## 百花繚乱 京都ウエスト

国際会長 (IP)	オーレハンセン	やる気が鍵だ
アジア会長 (AP)	奈良 昭彦	よりよい世界を次世代に-美しい地球を守ろう-
西日本区理事 (RD)	灰谷 隅夫	21 世紀に向かって新しい創造を
京都部長 (DG)	藤原 健治	分かち合い、認め合い、活かしあう そして ひとつになる

クラブ役員	会長	中瀬 康平	
	副会長	岩本 敬子	奥村 稔
	書記	寺井 幸生	藤居 一彦
	会計	伊東 正文	松本 忠正
各事業委員長	Y・SAF: 桂 厚子	CS・TOF: 胡内 順一	ファンド・BF: 野田 泰伸
	環境: 立山 隆一	ブリテン: 河合 久美子	EMC: 高野 忠男
	ドライバー: 山田 基雄	IBC/DBC・YEPP,STEP,YIA: 森田 恵三	
	ネット会長: 森田 直子	連絡主事: 堀井 忠	
	西日本区大会実行委員長: 奥村 稔		

### 第20代会長 中瀬 康平

まずもって、20 周年の節目の期に会長職を承ったこと、皆様に感謝いたします。また、今期は 1999 年 7 月の IBC トライアングルキャンプから、2000 年 6 月の第 3 回西日本区大会のホストまで、メンバー全員が一致団結し協力しなければ成らない事業が連続し、そのたびに、核となるメンバーの活躍を得ましたこと、あわせて感謝申し上げます。

トライアングルキャンプにおきましては、中神 IBC 委員長のサービス精神あふれる企画により鐘路、ダウントウン両クラブのメンバーも随分と楽しんでいただきました。3 度を数えた街頭募金におきましては、岩本、中原、藤居ファミリーの大活躍もすばらしいものがありました。河合ブリテン委員長による IT 化は他クラブにも大いに影響を与えたとおもわれ、何よりも当クラブのブリテン予算の大削減に大いに寄与されました。胡内、高山 CS コンビは、その独特のキャラクターを活かして、徳義会など CS 事業に新風を吹き込んだと言えます。今期新設しました環境委員会も立山委員長の下、確かな一歩を記しました。来期の更なる活躍を期待いたします。桂、中村 Y サコンビも、堀井主事ともども、ウエストのもうひとつの看板 Y サを大いに示されました。山田ドライバー委員長の酔ったときの司会、大江ワイズのガラガラ声の司会には、笑われました。高野 EMC 委員長の活躍で、鈴木稔ワイズ高山ワイズ吉村ワイズの入会を得ましたことも特筆されます。また、野田ファミリーとメネット会の SO はウエストとして、来期以降も応援していただきたい事業のひとつだと思います。そして、病氣療養中の加藤ワイズ鈴木寛ワイズの「調子のいい時にはまずワイズ」の熱い思いには感激いたしました。ワイズメンの鑑といえましょう。

機会があり、バンブー創刊号を読ませていただきました。森田初代会長を始め、内田ワイズ、鈴木寛ワイズ、森田メネットなどの若々しく、力強い文章が並んでおります。その中の笹山ワイズの「共に咲く喜び」と題された文の一章を引用させていただきます。

「現在の苦勞が多ければ多いほど、報われる喜びも大きく、その時我々は“共に咲く喜び”を心から味わうことが出来るでしょう。」 百花繚乱 京都ウエスト。